



## 71の個人と企業 創意工夫たたえ

県発明とくふう展

第62回県発明とくふう展の表彰式が27日、県民会館であり、71の個人・企業の創意工夫をたたえた。

実行委員長の平野治親県発明協会会長が「不便なものを改善したいという気持ちがあったと思う。受賞を機にさらなるアイデアを創出してほしい」とあいさつし

賞状を受け取るエムダイヤの森社長(中央)

た。

環境に優しい方法で処理可能な電子基板のリサイクル機械を提案し、一般・企業の部最高賞の文部科学大臣賞に輝いたエムダイヤ(滑川市)の森弘吉社長らが賞状を受け取った。児童・生徒の部では日本弁理士会長奨励賞に選ばれた宮田悠希さん(富山工業高3年)と古川詠惇さん(同2年)、長尾心音さん(同3年)らが出席した。

発明とくふう展は今回、一般・企業の部に27点、児童・生徒の部に165点が寄せられた。北日本新聞社共催。

42人が受賞した第33回県未来の科学の夢絵画展の表彰もあった。